

企業名：オイレス工業

---

レポート名： 統合報告書 2022

---

## 1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

統合報告書2022を読めば概ね理解できた。そもそも私はオイレス工業が何を作っている会社なのかすら、わからなかった。しかし、2ページ目に大きなレイアウトで企業理念が書かれていて、「オイルレスベアリングの総合メーカーとして世界のリーダーとなり、技術で社会に貢献する」とあり、企業の外形とその目指す姿がつかめた。また、10ページに設けられている「持続的成長に向けた重要課題（マテリアリティ）」の表に自社の重要課題、機械、リスク、施策が具体的に並べられていて、達成するためのプロセスも読者に伝わりやすかった。特に、企業理念が具体性と含みのバランスがよく、この一文さえ読めばこの会社が目指している将来の姿が理解できるようになっていて、いいドメイン設計だなと感じた。そして長期ビジョンとして「・世界が求める製品と技術を通して、地球環境の保全に寄与し、「安心」「安全」「快適」を届ける企業 ・トライボロジー技術（摩擦・摩耗・潤滑）とダンピング技術（振動制御）を究め、「世界に一つ」の製品を創り出す市場創造企業 ・高い社会貢献性を有する事業により、社会的責任（CSR）を果たし持続可能な社会の実現に役立つ企業」を掲げていて明確なビジョンが示されていた。

## 2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

この統合報告書を読むだけでは読者に伝わりにくいのではと感じた。12ページにある図表の一部として項目が小さく書かれていて、それに関連する数値が記載されているが、「自社のどういうところがその項目を強みにできているのか」というのが全く記載されていなかった。例えば「環境に配慮したエネルギー・水の使用」や「知的財産」を強みとしているが、どんなエネルギーを使っているのか、どんな知的財産が強みなのかかが記載されておらず、具体性に欠ける記述だった。しかし、13ページにはオイレス工業の事業が町のどこに使われているのか説明されていて、先生がおっしゃっていた「この企業がなくなるとどのように困るのか」という観点からは競争優位性を理解することができた。この、企業がないとどのように困るのかはイラストを用いてとても想像しやすく、いいレポートだと感じた。ただ、直接目立つように自社の強みを書くことより競争優位性が伝わると思う。ただ、結論として私はいまいちこの企業のどこに競争優位性があるかは統合報告書を読んだだけではわからなかった。一応、後半のページに技術について詳しく書いてあったので技術にあると考えられる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

この企業の競争優位性がある技術にあれば持続性は問題ないだろう。オイレス工業はオイレスベアリングで国内シェア率トップで保有特許も多く持っているため (<https://shikiho.toyokeizai.net/stocks/6282> を参考)、競合他社がいきなり参入してきてもその立ち位置が脅かされることはないだろう。技術を売りにしている企業は特許やシェア率からその後も安定して経営していけるだろう。財政基盤が固まっているため、持続性に関しては問題ないだろう。

### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私はできると思う。この会社の統合計画書は人的資本の取り組みについて3ページにわたって綿密に記述されており、オイレス工業もここには自信をもっていることが感じられる。特に働きやすさには力が入っていて、従業員に調査を行うことで健全な労使関係を築こうとする試みは素晴らしいと思った。教育研修制度もしっかりしていて、マネジメント研修、職能教育、国際化教育、自己啓発、ライフプランなどたくさんの観点から人的資産育成に取り組んでいて、なおかつ普遍性のある内容が多いため、今後のキャリアにも生かせることが多そうだなと思った。計画も細かく作られていてこの企業の強みにもとらえられる分野なのではないかと統合報告書からは感じた。

### 5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

文字だけではなくて表も多く使われていて、まとまりが取れたレイアウトを心がけているのが伝わってきた。数値が多く使われている場面ではグラフも使われていて視覚的に見やすい統合報告書だと感じた。また、自身の事業を説明する場合にはかみ砕いた表現が多く使われていて、分野に精通していなくても大まかな概形をつかむことができた。最後のデータベースの部分においても統合報告書には直接関係ないにもかかわらず、グラフに編集されていて財務状況もわかりやすかった。全体的に見やすく、わかりやすく、イメージしやすくで私はとてもいい統合報告書であると感じた。しいて欠点を上げるなら、前半にも述べたが自社の強みをもっと大々的に紹介するほうがいいと感じた。私は統合報告書だけではこの会社がオイレスベアリングで市場で高いシェア率があることはわからなかった。そうしたデータもいれるとアピールポイントが明確になって、企業の核となる部分がより分かりやすくなると思った。改善余地としては後半になるにつれて色彩が単調になっていくせいで、すこし読んでいて代わり映えがないなと思ってしまった。内容自体はしっかりと書かれているのでもったいないと思うので、そうしたアクセントもレイアウトを考えるうえで考慮するとより読み手の吸収も早くなると思う。また例えば30ページのように文字が圧倒的

に多いと感じるページもあるので、なにかしら読者を飽きさせない工夫（レイアウトであったり、文字数を少し減らして文字のまとまりに動きをつけてみたり）をするともっと良くなると感じた。

#### 参考文献

会社四季報オンライン <https://shikiho.toyokeizai.net/stocks/6282>

最終閲覧日 7/24